

(医学入門)

医学入門 〈 P M 〉

オーガナイザー

教育研究開発センター 教授 村田 顕也

I 一般学習目標

医学の基本的な医学体系・概念および医療システムおよび基礎医学、臨床医学の関連について理解する。また、医療において知識・技能以外に倫理観・人間性が重要であることを、地域福祉施設体験を通して理解する。

II 個別学習目標

1. 臨床研究や臨床試験（特に治験）の概略が説明できる。
2. EBM の情報を取得、利用できる。
3. 再生医療など先端医療についての基礎的な知識を得る。
4. エスコートや車椅子の取り扱いができる。
5. 接遇・個人情報保護について概要を述べることができる。
6. 医師としての身分、守るべき法令について概要を述べることができる。
7. 病院の機能について述べることができる。
8. 医療・福祉制度について述べることができる。
9. 医学体系について述べることができる。
10. 基礎医学・臨床医学についての概要および相互の関連を述べることができる。
11. 日本における新規感染症対策について述べることができる。

III 教育内容

講義項目と担当者

1 認知症	(教員未定)	
2 EBM (研究のデザインとエビデンス検索)	臨床研究センター	下川 敏雄
3 情報検索について (図書館利用)	教育研究開発センター	村田 顕也
4 再生医療について	産業技術総合研究所	原本 悦和
5 エスコート実習	教育研究開発センター	村田 顕也
6 地域福祉施設体験実習	教育研究開発センター	村田 顕也
7 接遇・個人情報保護	教育研究開発センター	村田 顕也
8 新型コロナウイルス感染症について	教育研究開発センター	村田 顕也

IV 評価方法

- ① 講義：出席および授業態度(50%)、感想文(50%)
- ② 地域福祉施設体験実習：エスコート実習・事前講習への出席および授業態度 (20%)
実習先での評価(40%)、体験実習報告書(20%)、体験実習報告会の発表内容(20%)

講義と地域福祉施設体験実習の総合評価とする。

講義については2/3以上の出席がなければ不合格とする。

評価の基準は大学の基準による。

地域福祉施設体験実習では、実習先から実習態度について問題があると報告された学生には、医学入門の単位を認めないことがある。

講 義 日 程 表

No.	月日	曜日	時限	項 目	担 当 科	担当
1	R3.4.20	(火)	4	認知症		教員未定
2	R3.4.27	(火)	4	EBM(研究のデザインとエビデンス検索)	臨床研究センター	下川敏雄
3	R3.8.24	(火)	4	再生医療	産業技術総合研究所	原本悦和
4	R4.2.1	(木)	1～5	エスコート実習、事前講習	教育研究開発センター	村田顕也
5	R4.2.21～25			地域福祉施設体験実習	教育研究開発センター	村田顕也
6	R4.2.28	(月)	1～3	地域福祉施設体験実習報告会	教育研究開発センター	村田顕也